

ふるさと文化館ニユース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

ねり美・ふる文
コラボ企画

もつと 浮世絵で行こ!

幕末明治の
暮らし、娯楽、事件...

左 小林清親
「高輪牛町籠月景」 明治12(1879)年
練馬区立美術館蔵



高輪牛町籠月景

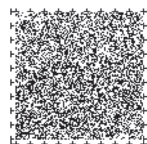
右 歌川国芳
「見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来」
弘化4(1847)年頃



観覧無料

令和8年

1月25日(日) ▶ 3月8日(日)



会 期: 令和8年1月25日(日)~3月8日(日)

会 場: 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室

観覧料: 無料

ふるさと文化館(以下、ふる文)と練馬区立美術館(以下、ねり美)はいずれも区立のミュージアムですが、それぞれの収蔵品や展覧会の性格の違いから、これまで、共同企画を開催することはありませんでした。そこで、この度、“浮世絵”という、それぞれが共に所蔵する資料(美術館で言えば作品)で初のコラボ展示が実現します。

ふる文では上石神井村の名主で、代々この地域の名士であった栗原家に伝わった幕末の浮世絵130点余を収蔵しています。役者絵や美人画、風景画、戯画など江戸の様子を垣間見る多彩な作品群で、これに加え、練馬にかかわる浮世絵資料も併せて収蔵されています。

一方、ねり美は平成27(2015)年に「没後100年 小林清親展—文明開化の光と影を見つめて」を開催。その時に紹介できなかった作品を中心に令和3(2021)年「収蔵作品による 小林清親【増補】—サブリメント—」を開催しました。2つの展示をきっかけに明治期の浮世絵作品が美術館に集まってきました。

ふる文収蔵の浮世絵を見ていくと、江戸時代に人々はどのように暮らし、どんな娯楽や出来事に一喜一憂していたかがわかります。最大のエンタメであった歌舞伎芝居、その役者たちは憧れのスターで、役者絵はいまだ言う“推し”のグッズと言えますし、災害・事件の伝達や政権批判のメディアとしても浮世絵はその役割を果たしました。江戸の人たちの営みは決して遠いものではなく、私たちと親しく地続きであることがわかります。

一方、ねり美収蔵の浮世絵はもっと私たちの暮らしに近い、近代化した東京の様子を見せてくれます。小林清親(1847~1915)は古来よりの浮世絵の技法を用いながら、これまでとは違う、光と影、季節や天候、空気感を表現する、水彩画のような東京名所図を発表しました。鉄道や電線が走り、洋館が点在する新しい時代の幕開けを斬新な手法で描きました。

両館合わせて約80点の浮世絵で幕末明治の江戸・東京へと誘います。

今年は「べらぼう」人気で各地の美術館・博物館は浮世絵展で大賑わいでした。1月、年を越してもまだまだ浮世絵で行きましょう!

(練馬区立美術館学芸員 加藤陽介)



歌川国芳
「大願成就有之瀧 金太郎 鯉つかみ」
弘化2(1845)年頃



小林清親 「常盤橋内紙幣寮之図」
明治13(1880)年 練馬区立美術館蔵

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

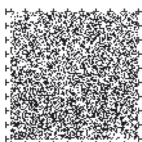
日時 2月8日(日)、2月25日(水)、各回14時~(30分程度) **参加費** 無料
会場 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

講演会 浮世絵にみる歌舞伎役者—プロマイドとしての魅力—

日時 2月22日(日)14時~15時30分 **参加費** 無料
申込 事前申込制 **定員** 60名
講師 藤澤 茜(神奈川大学国際日本学部准教授)
会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

ワークショップ「木版摺でうちわを作ろう」

内容 伝統工芸品、丸亀うちわに浮世絵と同じ技法で木版多色摺をほどこしていきます。
日時 3月1日(日)14時~16時 **参加費** 1,500円
申込 事前申込制
講師 高橋 由貴子(高橋工房)
定員 20名
会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 会議室2



詳しくは、本展チラシ、
美術館ホームページを
ご覧ください

「遊べる浮世絵」の紹介

練馬区立石神井公園ふるさと文化館所蔵の浮世絵から、遊べる浮世絵を2作品紹介します。

1作品目は、歌川国芳の作で「人をばかにした人だ」です。絵の人物が何をしているかというと、顎を突き出しておでこに貼った紙を息で飛ばす遊びをしています。しかし、よく見ると複数の裸体の人が複雑に組み合わさって顔になっています。初めてみると驚いてしまうことでしょう。これは「^は嵌め絵」「寄せ絵」と呼ばれている技法で、国芳は4作品を世に出しました。本作品の左上には、「人の心はさまざまなものだ、いろいろくろふ（苦勞）して、よふよふ（やっと）人ーにんまへ（一人前）になつた」と記されています。絵の説明とも人生訓とも解釈ができる内容です。

もう1作品は、歌川貞景の「^{ごしじゅうどうのす}五子十童図」です。「此図は古今に無図にて子供五人の頭にて四方より見れば十人に成也」と説明があります。中国の清朝時代に盛んに行われた民間版画の年画の影響を受けたもので、子供がつながって子孫が繁栄していくことを示しています。見方により、5つの頭で10人の身体が見えるものです。

企画展では、このような遊べる浮世絵をはじめ、様々なジャンルの浮世絵から、隠されたメッセージや楽しみ方を紹介します。（学芸員 小宮佐知子）



歌川国芳「人をばかにした人だ」
弘化4(1847)年頃



歌川貞景「五子十童図」
天保年間(1830~44)

第13回ねりま手工芸公募展

令和7年8月31日(日)から9月6日(土)にかけて、当館企画展示室において、第13回ねりま手工芸公募展が開催され、応募のあったさまざまなジャンルの作品の中から、75点が展示されました。各賞の受賞者を紹介します。

練馬区長賞

羽田野建一 作「制多迦童子像」

石神井公園ふるさと文化館館長賞

高橋 静子 作「内田家」

練馬区手工芸作家連盟会長賞

石崎 理恵 作「夏(新聞紙を使って)」

練馬区伝統工芸会会長賞

井関 彩 作「まぼろしのラーメン屋台」

優秀賞

大神田 博 作「愛すべき“BUHI”3匹」

金淵 智子 作「練馬大根」

木谷 雅子 作「leaves」

佐々木仁美 作「wave」

下田 陽子 作「12星座のモウ」

徳永 千尋 作「つまんで作る革のワンちゃん大集合！！」

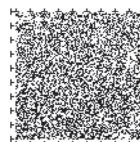


練馬区長賞



次回の手工芸公募展は、令和8年6月ごろに作品を募集し、9月ごろに展覧会を開催する予定です。是非ご出品ください。

主催 ねりま手工芸公募展実行委員会(練馬区手工芸作家連盟・練馬区伝統工芸会・公益財団法人練馬区文化振興協会・練馬区)



催し物のご案内(令和8年1月～3月)

ねり美・ふる文 コラボ企画

ねり美・ふる文 コラボ企画

「もっと 浮世絵で行こ！ 幕末明治の暮らし、娯楽、事件…」

1月25日(日)～3月8日(日)

※展覧会の詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

季節展示

旧内田家住宅にて歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。(観覧無料)

正月飾り 12月27日(土)～1月11日(日)

まゆ玉飾り 1月8日(木)～1月15日(木)

ひな飾り 2月21日(土)～3月3日(火)

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

あれも浮世絵これも浮世絵

2月23日(月・祝) 14時～15時30分

講師 湯浅淑子(たばこと塩の博物館 主任学芸員)

定員 90名(抽選) **参加費** 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

申込 事前申込制※

サポーター企画事業

絵本のよみきかせ

1月12日(月・祝) ①14時～ ②15時～

参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
(直接会場にお集まりください)

その他イベント

第3回 絵本とあそぶ会

1月25日(日) 14時～14時45分

対象 幼児～小学生と保護者 **定員** 50名

読み手 練馬区立石神井図書館司書

参加費 無料 **申込** 事前申込制※

会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

石神井中学校演劇部による絵本とおはなしの会

3月14日(土) 14時～15時

対象 幼児～小学生と保護者 **定員** 30名(抽選)

出演 石神井中学校演劇部

参加費 無料 **申込** 事前申込制※

会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

石神井公園ふるさと文化館デジタルスタンプラリー

開催中～3月29日(日)

会場 石神井公園ふるさと文化館および
分室(石神井松の風文化公園管理棟内) **参加費** 無料

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

1月24日(土)、3月28日(土)

①13時30分～15時 ②15時30分～17時

対象 中学生以上 **定員** 各回20名(抽選)

参加費 各回300円～500円(解説員により異なる)

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階
五味康祐オーディオ展示室 **申込** 事前申込制※

区内大学との連携コンサート

武蔵野音楽大学サロンコンサート

1月18日(日) 14時～15時

対象 小学生以上 **定員** 100名(抽選)

参加費 無料

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

申込 事前申込制※

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和7年12月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) **入館無料** ※特別展は一部を除いて有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

みどりバス 関町ルート (関町福祉園～武蔵関駅南口～
上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～
荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武バス 吉60 (成増町～石神井公園駅北口
～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅
～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.57

令和7(2025)年12月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

